

～玉野海上保安部からのお願い～

SUPの際はライフジャケット着用を！

8月13日、男性2名がライフジャケットを着用せず海上でSUP中にSUP（※インフレーターブルタイプ）本体が破裂し海中に転落、救助を求める事故が発生しました。SUP使用の際には、次のポイントを心がけてください。

※インフレーターブルタイプとは、空気で膨らませるタイプです

◎事前の準備

- 天気予報や潮汐情報を収集し、海の状態を把握する
- 遊泳禁止区域や船の往来が多い場所など危険な海域は避ける
- SUPボード、パドル、リーシュコード、ライフジャケットについて、異常（エア漏れ等）が無いか確認する
- 単独で行う際は、誰かに連絡先と行動予定を伝える

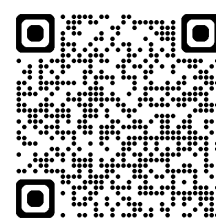
◎海に出る際に

- **ライフジャケットを着用する**
- リーシュコードを装着する
- 防水パック入り携帯電話など、連絡手段を持参する
- 風向きと風速に気をつける（流されたり、転覆の危険）
- 周囲の状況への注意（遊泳者や他の船舶の動きを把握する）



☆詳しくは「ウォーターセーフティガイド（SUP編）」

をご覧ください（→のQRコードからどうぞ）



<万が一の際は>

まわりの人に助けを求めて118番に電話！

岡山県のSUPによる海での事故例

1. SUPで釣り中に転覆（知識と技能不足）

50代男性が単独でSUPで釣り中、SUP上で姿勢を変えようとした際にバランスを崩し海中に転落。SUP上に備えていたクーラーボックスが邪魔をし、SUP上に上がれずにいたところ、付近にいた他のSUP利用者により曳航、救助されました。

2. SUPで釣り中に転覆（ライフジャケット未着用）

40代男性がライフジャケットを着用せずに単独でSUPで釣り中、何らかの波を受けバランスを崩し海中に転落。ライフジャケットを着用していなかったこともあり、SUP上に上がれずに泳ぐなどして漂流。その後、付近を航行していた漁船により救助されました。


3. 遊泳中の事故（資材の点検整備不良）

20～30代の男女4名が、それぞれレンタルSUPを使用中、2艇のパドルの先端部分が外れ漕ぐことが出来なくなり、他の2艇で曳航しようとしたが潮流に流され帰還不能となりました。このため、レンタル先等に救助を求め、結果、海上保安部の船により救助されました。



118番

玉野海上保安部

 **0863-32-3589**

ホームページ ⇒

